

なお、このプラズマ研究所は、その基礎研究の性格から文部省所管とするのが最もふさわしく、将来、核融合が現実化した場合には、当然その技術的開発のために別の施設が設けられることが必要であるが、その際においても、この研究所はなお、プラズマの基礎研究をおこなう施設として十分の存在価値があると考えらる。

4-64

庶発第911号 昭和34年12月4日

科学技術庁原子力局長 佐々木 義 武 殿

日本学術会議事務局長 竹 下 俊 雄

原子炉の安全性について（要望）

本会議の原子力関係委員会は、去る12月2日標記のことについての報告会を開催し、日本原子力発電株式会社および原子力委員会、原子炉安全審査専門部会の方々から報告を伺い、それについて質疑を行いました。そして、12月3日開催の原子力問題委員会において審議の結果、下記の事項について原子力委員会の御配慮を得たい旨強い要望がありました。

つきましては、原子力委員会よろしくお取り計らい下さるようお願いいたします。

記

- (1) 「原子炉の安全性について」は昭和34年10月19日付庶発第815号をもつて本会議事務局長から科学技術庁原子力局長あてに申し入れたが、それらの事項については、未だ措置せられてないので、早急に善処せられたい。
- (2) 日本原子力発電株式会社の原子炉の設置について、最終的な決定がなされる前に、なお広く学界の意見を聴取せられることが望ましい。
- (3) 原子炉の設置に当つては、設計・管理・運転の実施上絶対に守られなければならない条件が多い。つては、原子力委員会において、それらが確実に履行されるような体制の確立が望ましい。

5-1

The President
Academy of Sciences
23 Quai de Conti, Paris VI^e
FRANCE

Subject: Reported plan for Nuclear Test in Sahara
(声 明)

Dear Sir, I have the honour of communicating to you an appeal to scientists of your country adopted by Management Committee of the Science Council of Japan at its meeting held on January 22, 1960 as follows:

The Science Council of Japan has repeatedly appealed to their fellow scientists in different parts of the world

for their cooperation in realizing prohibition of atomic and hydrogen bombs as well as suspension of their tests.

It is gratifying that as the result of the efforts of the countries concerned for reaching an agreement on prohibition of nuclear bomb tests, there seems to be a fair possibility of reaching such an agreement, and that at present nowhere on earth is being conducted any test explosion of such a bomb.

It is reported, however, that the French Government is planning to carry out a nuclear test in the desert of Sahara. We Japanese scientists consider that such a plan, if it is executed, will exert an undesirable influence on the above-mentioned situation and help increase the number of countries possessing nuclear weapons.

We sincerely hope that scientists of France will join their efforts to check the proposed test in Sahara. We should highly appreciate it if you would kindly take action to bring this appeal to the attention of the members of your Academy and other scientists of your country.

Sincerely yours,

Kiyoo WADATI

President

KW;kh

5-2

庶発第303号 昭和35年5月6日

文部大臣 松田竹千代 殿

日本学術会議会長 和達清夫

大学におけるロシア語教育の充実について(勧告)

標記のことについて、本会議第31回総会の議に基き、下記のとおり勧告します。

記

近年のソビエト連邦における科学の進歩はめざましく、わが国の科学者にとつて研究遂行上ロシア語を修得する必要性がいちじるしく増大した。この情勢に対処して、大学におけるロシア語教育を充実させることが、わが国の科学の発展にとり、きわめて大切であると考え。このために政府において至急適切な措置を講ぜられたい。

理 由

近年ソ連の科学の発展がめざましいので、世界のどこの国でもロシア語の文献を読み、ソ連の科学者と接触することが、その国の科学の発展にとつて大きな意味をもつようになってきた。人文、社会、